

様式 11-1

事業報告書
(自 令和3年8月1日 至 令和4年7月31日)

1 医療法人の概要

(1) 名称

(社会) 医療法人社団優成会

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人☐ 出資額限度法人 ☒ その他③ ☒ 基金制度採用 ☐ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地

兵庫県尼崎市南塚口町2丁目17番9号塚口ビル2階

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日

平成27年2月17日

(4) 設立登記年月日

平成27年3月9日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長		
理 事		
同		
同		
同		
同		
同		
監 事		
同		
評 議 員		
同		
同		

注) 1. 社会医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第46条の5第6項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第46条の4参照)

2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	医療法人社団優成 会小林歯科	兵庫県尼崎市南塚口町2丁目1 7番9号塚口ビル2階	無床
診療所	医療法人社団優成 会浄正橋デンタル クリニック	大阪市福島区福島1丁目5番1 3号1階	無床

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
なし	なし	なし

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
なし	なし	なし

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

会議名			議決又は同意事項
令和 3年	9月28日	令和2年度事業決算報告及び書類の承認を求める件、議事録署名人選任の件	
令和 4年	6月25日	令和4年度の事業計画及び収支予算の決定及び令和4年度の借入金額の最高限度額の決定	
令和 4年	7月12日	議事録署名人選出の件、分院診療所の新規開設の件、管理者選任及び理事就任の件、理事選任の件	

法人名 医療法人社団優成会

※医療法人整理番号 01915

所在地 兵庫県尼崎市南塚口町2丁目17番9号塚口ビル2階

貸 借 対 照 表

(令和4年7月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	112,374	I 流 動 負 債	23,393
II 固 定 資 産	47,701	II 固 定 負 債	90,201
1 有 形 固 定 資 産	36,708	(うち医療機関債)	(0)
2 無 形 固 定 資 産	4,574	負 債 合 計	113,594
3 その他の資産	6,419	純 資 産 の 部	
(うち保有医療機関債)	(0)	科 目	金 額
		I 基 金	24,000
		II 積 立 金	22,481
		(うち代替基金)	(0)
		III 評価・換算差額等	0
		純 資 産 合 計	46,481
資 産 合 計	160,075	負債・純資産合計	160,075

千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

法人名 医療法人社団優成会
所在地 兵庫県尼崎市南塚口町2丁目17番9号塚口ビル2階

※医療法人整理番号 01915

損 益 計 算 書
(自 令和3年8月1日 至 令和4年7月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	336,701
2 事業費用	336,284
本来業務事業利益	417
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	0
2 事業費用	0
附帯業務事業利益	0
事業利益	417
II 事業外収益	9,956
III 事業外費用	1,891
経常利益	8,482
IV 特別利益	0
V 特別損失	0
税引前当期純利益	8,482
法人税等	1,618
当期純利益	6,864

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。
3. 千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

様式11-2

法人名 医療法人社団優成会

※医療法人整理番号 01915

所在地 兵庫県尼崎市南塚口町2丁目17番9号塚口ビル2階

財 産 目 録
(令和4年7月31日現在)

1. 資 産 額	160,075 千円
2. 負 債 額	113,594 千円
3. 純 資 産 額	46,481 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	112,374
B 固 定 資 産	47,701
C 資 産 合 計 (A + B)	160,075
D 負 債 合 計	113,594
E 純 資 産 (C - D)	46,481

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。
千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 医療法人社団優成会
所在地 兵庫県尼崎市南塚口町2丁目17番9号塚口ビル2階

※医療法人整理番号 01915

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業の 内容	関係事業 者との関 係	取引の 内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業 者との関 係	取引の 内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

- (注)
- 1 関係事業者ごとに記載すること。
 - 2 種類は医療法施行規則第32条の6に定める関係事業者のうち該当する関係を記載する。
近親者である場合には続柄を記載する。
 - 3 次に定める取引については上記の注記を要しない。
イ 一般競争入札による取引並びに預金利息及び配当金の受取りその他取引の性格からみて
取引条件が一般の取引と同様であることが明白な取引。
ロ 役員に対する報酬、賞与及び退職慰労金の支払い
 - 4 該当する取引がない場合には「該当なし」と記載する。

監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団優成会

理事長 小林 敏英 様

私(注1)は、医療法人社団優成会の令和3会計年度(令和3年8月1日から令和4年7月31日まで)の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書(注2)の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款(寄附行為)に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款(寄附行為)に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款(寄附行為)に違反する重大な事実は認められません。

令和4年9月28日

医療法人社団優成会

監事 岡田 和久 印

(注1) 監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

(注2) 社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。